

# 立教大学図書館

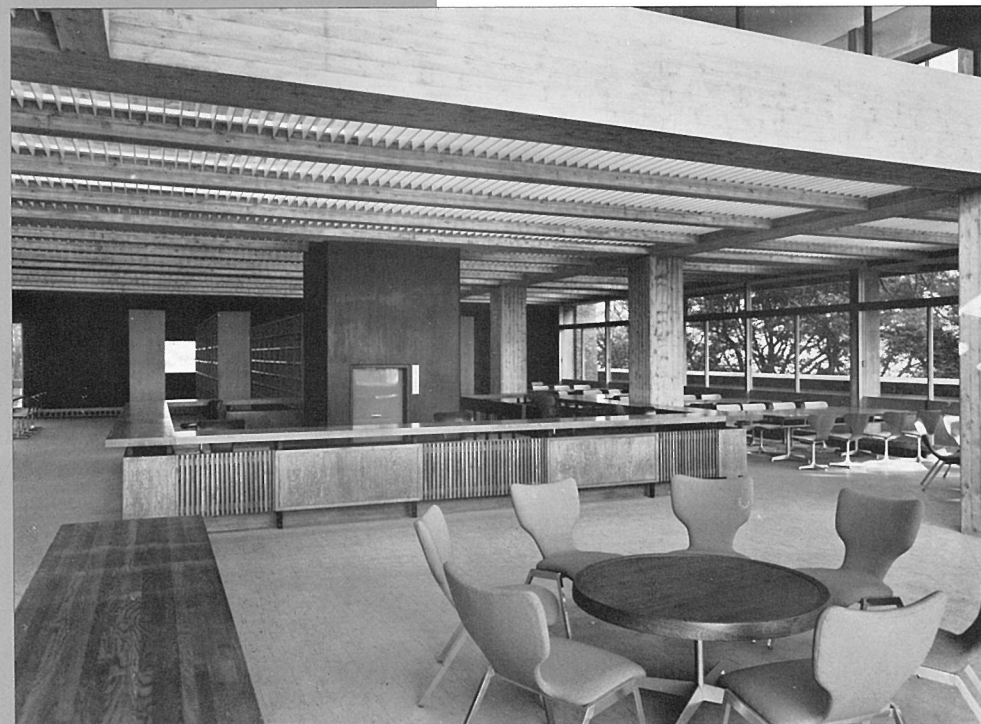


1960年12月22日

東京都豊島区池袋



屋上庭園から玄関ホールに入ると  
中央のカウンターを囲んで 自由閱  
覧室 参考閲覧室 目録室 雑誌閱  
覧室がある



玄関ホールとカウンター





一般閲覧室（西側から）

総ガラスの開放的な一般閲覧室は  
室内の間接照明で落ち着いた雰囲気  
に包まれ ロビーからは池袋周辺の  
市街が一望される



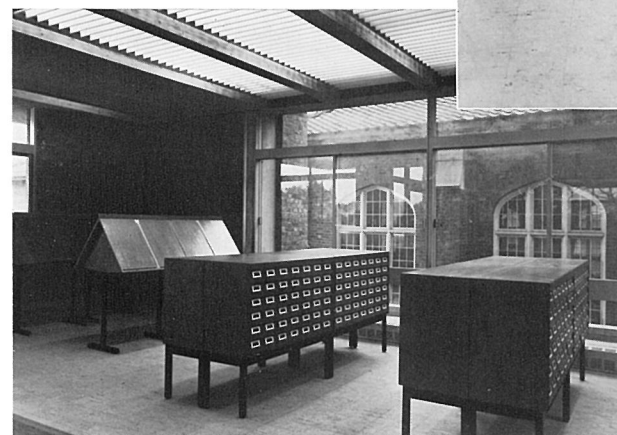
一般閲覧室（北側から）



参考閲覧室は出納台に接して  
設け 展示棚で玄関ホールか  
ら区切られている



ホールおよび階段



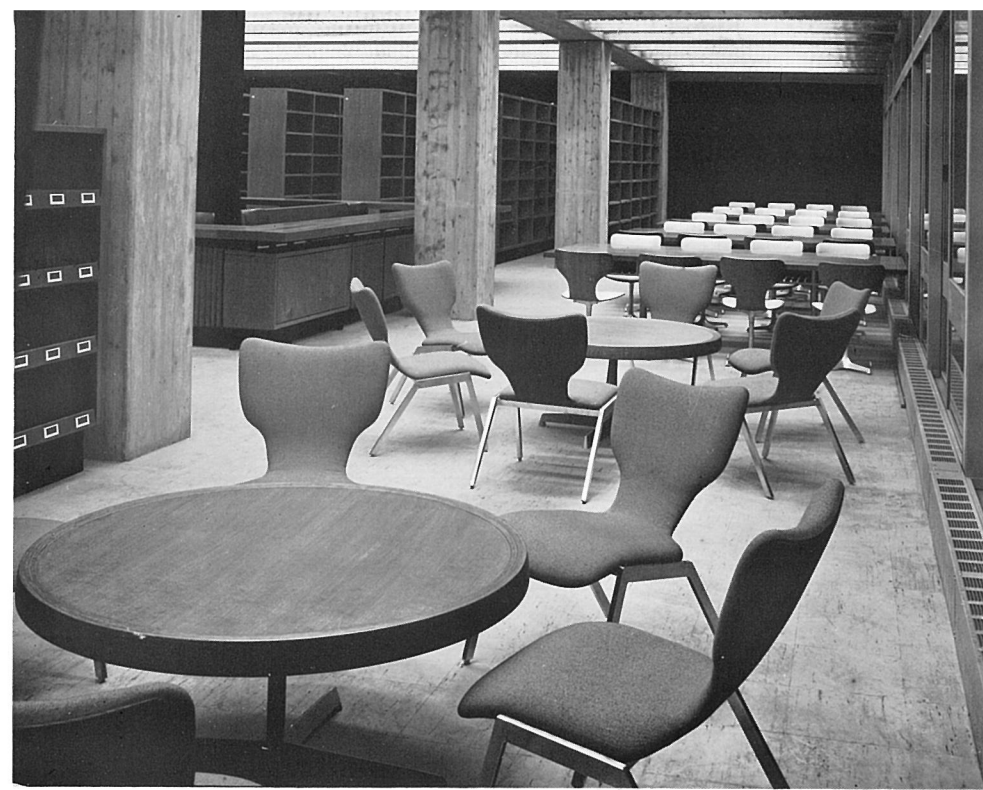
目録室



参考閲覧室

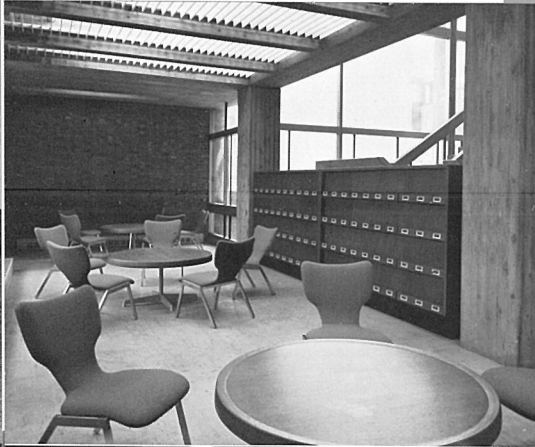
閲覧室正面

屋上庭園は閲覧室の前庭であり、学生の憩いの場所である。ここからごく自然にさそいこまれるように閲覧室が続いている。



自由閲覧室（南側から）

雑誌閲覧室



キャレルを備えた書庫

地下映写室

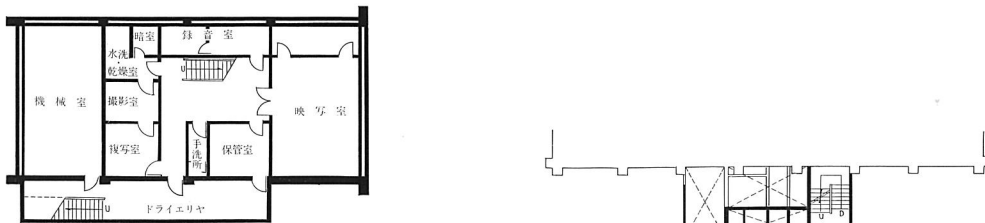
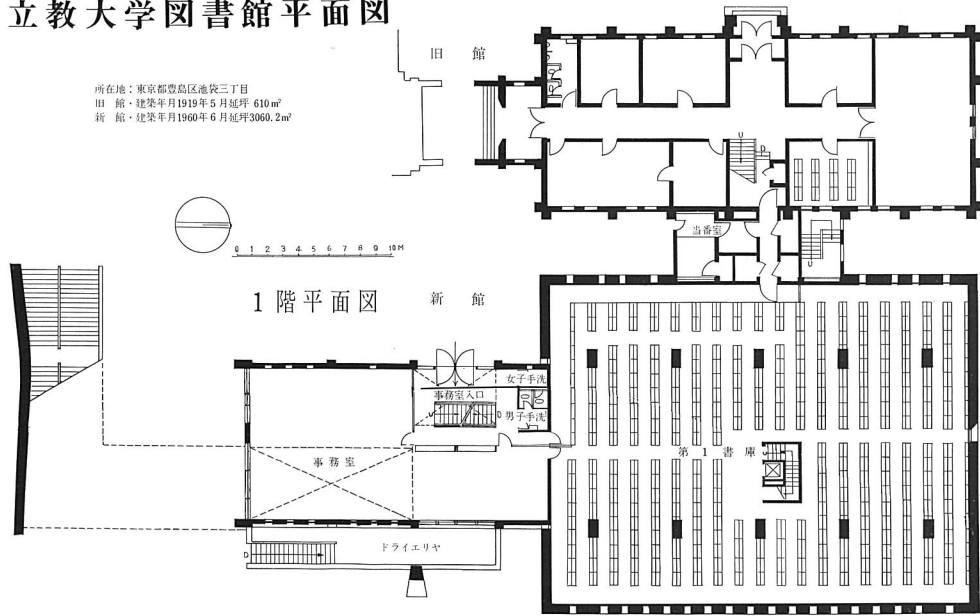


事務室

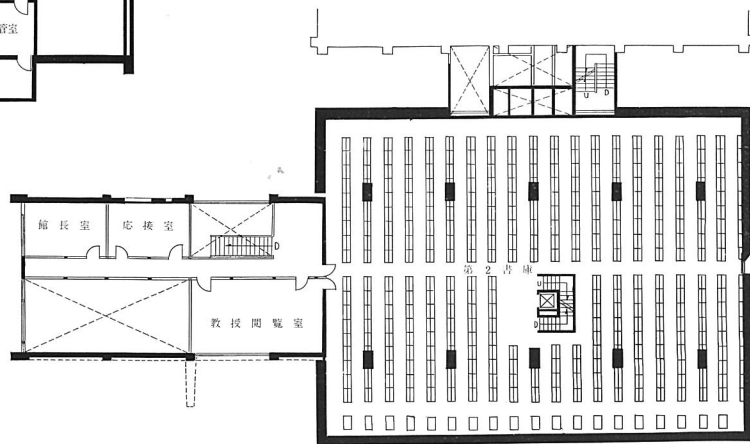


# 立教大学図書館平面図

所在地：東京都豊島区池袋三丁目  
 旧館：建築年月1919年5月延坪610㎡  
 新館：建築年月1960年6月延坪3060.2㎡

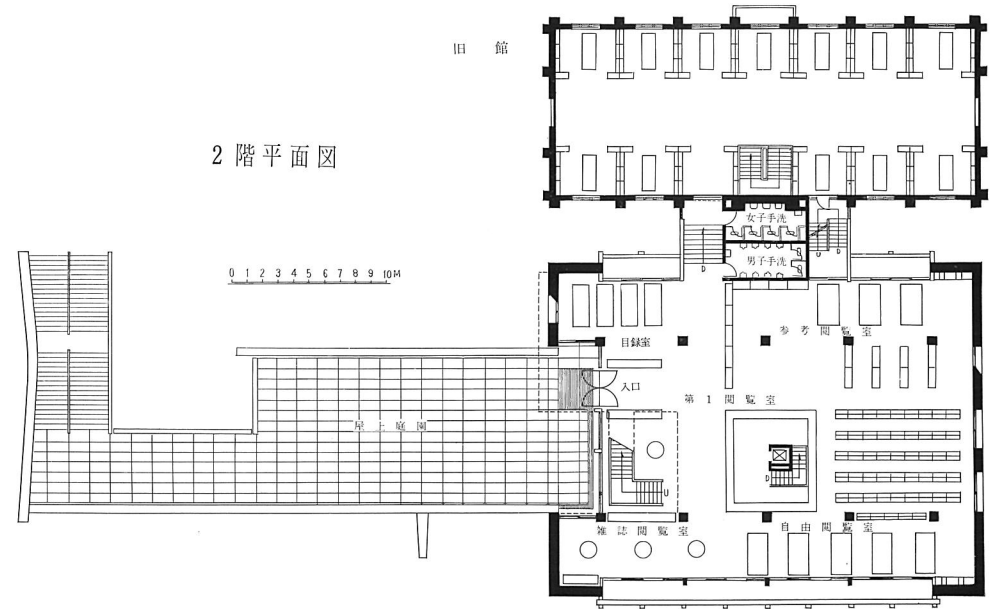


地下1階平面図

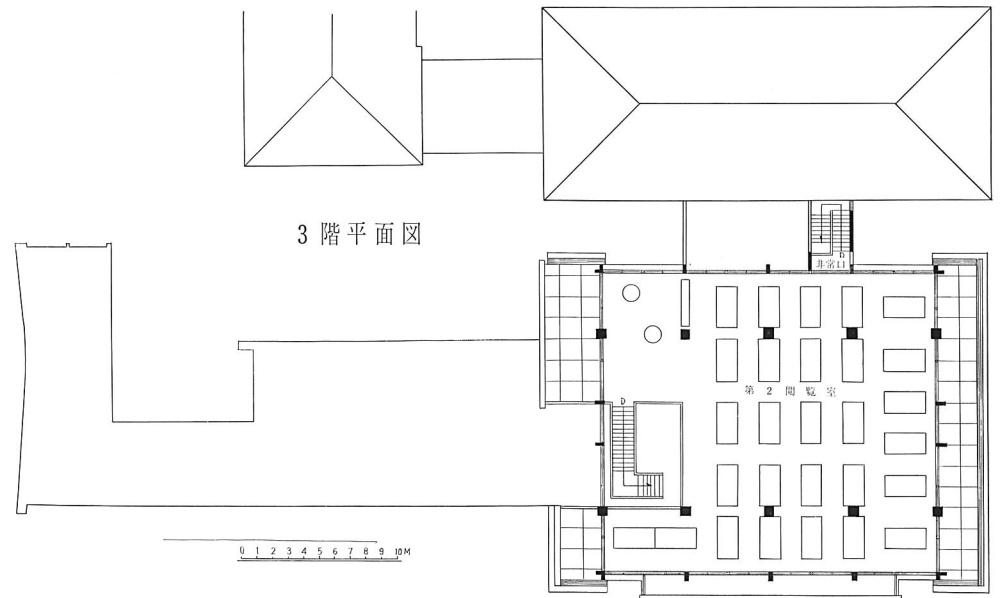


中2階平面図

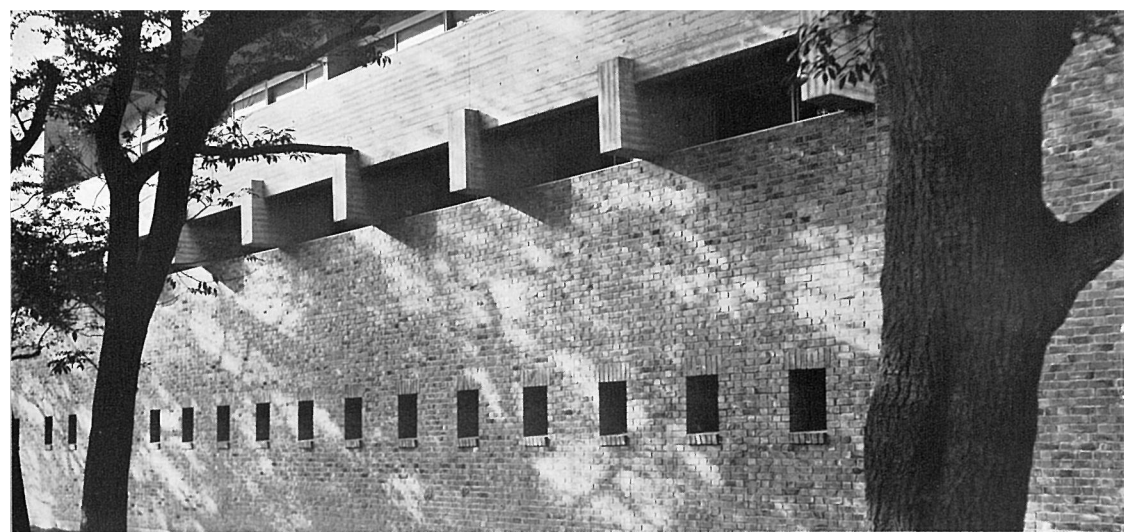
2階平面図



3階平面図







## 建設工事概要

起工 昭和34年6月30日  
 竣工 昭和35年6月30日

### A. 主体工事

1. 建設位置 東京都豊島区池袋3丁目1272番地
2. 主体構造 鉄筋コンクリート造3階建 中二階付  
基礎 コンクリート杭打 径35cm長12m
3. 規模 建築面積 937.7m<sup>2</sup>  
総床面積 3060.2m<sup>2</sup>

内訳

地階 231.0m<sup>2</sup> 機械室 視聴覚実験室 暗室 複写室 録音室  
調整室 撮影室 映写室

1階 937.7m<sup>2</sup> 書庫 事務室 ホール

中2階 704.5m<sup>2</sup> 館長室 応接室 教授閲覧室 会議室 書庫

2階 589.0m<sup>2</sup> 自由閲覧室 参考閲覧室 雑誌閲覧室 日録室 新聞閲覧室 出納

3階 598.0m<sup>2</sup> 一般閲覧室

### 4. 仕上概要

外部  
 柱及梁 コンクリート打放し仕上  
 壁 レンガ一枚半積み

### 内部

	床	巾木	壁	天井
書庫	プラスチック貼	プラスチック貼	プラスチック塗	トムレックス吹付
目録室	ソフトタイル貼	/	レンガ化粧積	トムレックス吹付
閲覧室	同上	/	同上	同上
出納	同上	/	/	同上
一般閲覧室	同上	/	/	同上
機械室	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗	色モルタル吹付
撮影室 複写室 調整室	ソフトタイル貼	ソフトタイル貼	麻布貼ビニールペイント吹付	ベニヤ貼ビニールペイント吹付
機械整備室	同上	同上	同上	同上
録音室	同上	同上	有孔ベニヤ貼	有孔ベニヤ貼
地下ホール	同上	同上	麻布貼ビニールペイント吹付	コルクプラスター吹付
暗室 水洗乾燥室	モザイクタイル貼	タイル貼	タイル貼及びプラスター塗吹付	ベニヤ貼
視聴覚実験室	ソフトタイル貼	ベニヤ貼	有孔ベニヤ貼	コルクプラスター吹付
事務室	同上	ソフトタイル貼	ゾラコート吹付	ベニヤ貼
ホール	同上	同上	ソフトタイル貼	同上
館長室	ベルタフト敷	同上	同上	同上
応接室	同上	同上	同上	同上
会議室	同上	同上	同上	同上
教授閲覧室	同上	同上	同上	同上

### B. 電気設備

1. 変電室設備 受電方式 3,300V 50サイクル 3相3線式  
 高圧変圧器 一般電灯及電熱用 100K. V. A. 1台 単相3線式  
 “ 動力用 30K. V. A. 3台 3相3線式
2. 動力設備 消化栓 排水ポンプ用電源 其他
3. 電灯設備 閲覧室 書庫 事務室 その他すべて白色蛍光灯照明  
 照度 200ルクス以上
4. 弱電設備 a. 電話一共電式500型3台 交換台収容局線30本 内線220本  
 b. 自動火災警報設備 (能美式)
5. 書籍用リフト設備

### C. 衛生・給排水及び消火栓設備

1. 給水設備 都水道直結及び圧力水槽に依る給水及び消火栓設備

### D. 暖房及び換気設備

1. 直接蒸気暖房方式 地階強制換気方式

### 建築工事関係者

顧問 岸田日出刀  
 設計 丹下健三研究室  
 施工 清水建設株式会社